こころと身体 Soteria GMC

札幌市北区篠路

五稜会病院 広報誌第78号

GORYOKAI

令和5年5月の五稜会病院正面。朝7時、左側の壁面は朝日に照らされて太陽が反射しています。歩道の植え込みには、今年も真っ赤なチューリップが咲きました。毎年、これを楽しみにしています。

令和５年５月８日から新型コロナは「５類感染症」になりました。感染症については、感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）によって、感染力や感染した場合の重篤性などを総合的に勘案した１～５類等に分類されており、感染拡大を防止するために行政が講ずることができる対策が定められています。

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、これまで、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる２類相当）」でした。「５類感染症」になったことで、新型コロナは法律に基づいた行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択が尊重された自主的な取組をベースとした対応に変わりました。

といっても、新型コロナウイルス感染症が無くなったわけではなありません。五稜会病院としては、病院という特性上、精神疾患に加えて身体合併症のお持ちの患者さんがいることから、原則的にはマスク着用などの感染対策を油断せずに行っていきたいと考えております。引き続き、宜しくお願い致します。

医療法人社団五稜会病院理事長・院長：中島公博

五稜会病院の理念

情熱と個々への配慮

1 患者さんの病前の社会背景と病状を理解し、個々を尊重する治療に努める。
2 医療の情報開示を行い、患者さんとの信頼関係を大切にした医療を行う。
3 地域医療連携を密にし、精神科・心療内科の基幹病院としての役割を担う。
4 臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める。

学会 研究発表

五稜会病院では、最新の医療を提供出来るように、日々研鑽しております。例年、札幌市病院学会、北海道病院学会、日本精神科医学会学術大会などの地方会、全国学会、研究会へ積極的に参加しています。

御　案　内

最近のコロナの感染状況から、対面式やハイブリッド形式の学会が増えてきました。

学会・研究会

令和5年2月19日
★第 48 回札幌市医師会医学会
「民間の単科精神科病院における電子カルテ上の文書管理の効率化を目指して」　中島公博

令和5年2月26日
★第 48 回日本心身医学会北海道支部例会
「長期に亘る慢性疼痛に対して認知行動療法が奏功した一例」　宮村真季

令和5年3月1日
★第 43 回札幌市病院学会
「摂食障害治療における栄養指導の役割」　髙畑聖美
「睡眠検査結果報告書の工夫～より良質な睡眠に導くために～」　小田由美

令和5年6月2日
●日本精神科看護学術集会 in 札幌
「本人と家族をまるごと支援！！ﾒﾘﾃﾞﾝ版訪問家族支援とは？」　鈴木大輔

令和5年7月15日
★第 22 回北海道病院学会
「精神科病院におけるリカバリー志向での多職種連携－当事者が抱える日常生活での困難に対し多職種で関わったケースを通して－」　鈴木大輔
「精神科デイケアにおけるマインドフルネスプログラムの取り組み～オープングループのメリットとデメリット～」　越田志保

論文・エッセイのご紹介

「時評：令和 5 年 4 月、改正精神保健福祉法施行」
中島公博　日精協誌　2023（4）
「精神疾患患者への睡眠ケア」
井端累衣　睡眠医療　2023（9）

患者さんの権利綱領

五稜会病院の職員は、患者さんの次の権利を順守して日々の医療を行います。

1 安全で適正な医療を公平・平等に受ける権利
2 個人の生き方、信条、尊厳などが尊重される権利
3 病状、検査結果、治療方法・結果などについて、納得のいく説明を受ける権利
4 十分な説明や情報提供のもとで、どのような医療を受けるかを選択する権利
5 如何なる不利益を受けることなく、検査・治療などを拒否する権利
6 希望によりセカンドオピニオン（他の医師の意見を聴くこと）を受ける権利
7 如何なる場合も、個人情報やプライバシーが守られる権利

五稜会病院　入職式

４月３日、入職式を開催しました。今年度は１１名の方が五稜会病院に入職しました。新卒・既卒関係なく、皆さんが患者様の為に何が最善かを常に考え、行動していけるようになっていただきたいと思います。看護師は常勤３名、非常勤１名入職しています。看護師は患者様と最も接する機会・時間の多い職種です。常に患者様のことを考え、患者様の情報は他職種と共有を図ります。作業療法士も２名入職しています。また、以前から在籍している薬剤師１名が非常勤から常勤になっています。先輩から沢山学び、教えてもらい、五稜会病院らしさに自分らしさを融合させて、患者様と接してほしいと思います。精神科医療の柱は、作業療法・精神療法・薬物療法です。この柱を充実させることが患者様の治療に繋がると考えています。これからも、患者様の為に、全職員一丸となって治療に取り組んで参ります。

（管理課・松田　雄介）

医療法人社団 五稜会病院 SDGs宣言

当法人は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2023年4月19日
医療法人社団　五稜会病院
理事長　中島　公博

SDGsの達成に向けた取組

- 働きやすい職場環境を目指して
- 安心・安全な医療の提供
- 情報を持ち個々へ配慮した地域貢献
- 環境への配慮

SDGｓとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

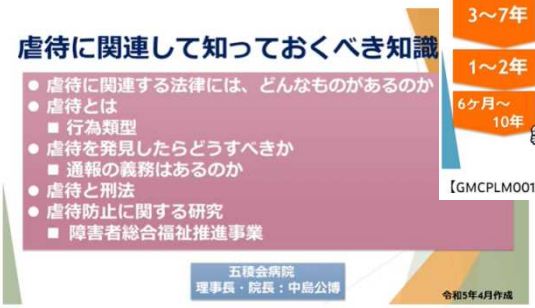
精神科教育動画ライブラリー

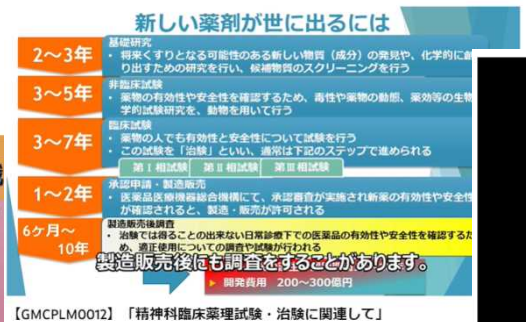
当院のホームページに「精神科教育動画ライブラリー」を開設しました。幅広い視点で精神科医療を紹介しています。一般市民だけでなく、医療者にも精神科医療について理解を深めてもらいたいと考えています。ナレーション・キャプション含め、中島院長が作成しています。

精神科医療は非常に分かりにくく、偏見をもたれていることが少なくない為、医療者も含め、多くの人に精神科医療を深く知ってもらいたいことが開設理由です。

５月末時点で以下の１４のスライドと２つの番外編を公開しており、YouTube 上でも視聴できます。以下のタイトルのように様々な視点・分野について動画を作成しています。皆様にも是非、ご視聴いただきたいと思っております。

- 「精神鑑定とは何か①」　（【GMCPLM0014】スライド）
- 「五稜会病院 SDGs 宣言」（【GMCPLM0013】スライド）
  （関連「NHK の SDGs17 目標のおぼえうた」）
- 「精神科臨床薬理試験・治験に関連して」（【GMCPLM0012】スライド）
- 「電気けいれん療法（ECT）とその有用性」（【GMCPLM0011】スライド）
- 「傷病手当金の概要と診断書作成での工夫」（【GMCPLM0010】スライド）
  ⇒精神科病院に限らず、一般病院でも参考になります。
- 「医療保護入院における“家族等”とは」（【GMCPLM0009】スライド）
- 「精神科病院での入院形態とは」（【GMCPLM0008】スライド）
- 「適応障害・不適応状態について」（【GMCPLM0007】スライド）
- 「虐待に関連して知っておくべき知識」（【GMCPLM0006】スライド）
- 「精神科の病気・診断・治療の概略」（【GMCPLM0005】スライド）
- 「五稜会病院 50 周年 Goryokai’s history」（【GMCPLM0004】スライド）
- 「令和５年４月改正精神保健福祉法：虐待防止」（【GMCPLM0003】スライド）
- 「令和５年４月改正精神保健福祉法：入院者訪問支援事業」（【GMCPLM0002】スライド）
- 「令和５年４月改正精神保健福祉法：医療保護入院」（【GMCPLM0001】スライド）





【GMCPLM0012】「精神科臨床薬理試験・治験に関連して」

【GMCPLM0010】「傷病手当金の概要と診断書作成での工夫」

最近の精神科医療政策のご紹介

★令和5年4月1日、改正精神保健福祉法施行

虐待防止対策

〇精神科病院における虐待防止のための取組を、管理者のリーダーシップのもと、組織全体でより一層推進するため、以下の内容を規定。

①精神科病院の患者に対する虐待への対応について
従事者への研修や患者への相談体制の整備等の虐待防止等のための措置の実施を、精神科病院の管理者に義務付ける。

②精神科病院の業務従事者による虐待を受けたと思われる患者を発見した者に、速やかに都道府県等に通報することを義務付ける。

③都道府県は、毎年度、精神科病院の業務従事者による虐待情報等を公表するものとする。　　（令和6月4月から開始）

新型コロナは「5類感染症」対応

	新型インフルエンザ等感染症
発生動向	・法律に基づく届出等から、患者数や死亡者数の総数を毎日把握・公表 ・医療提供の状況は自治体報告で把握
医療体制	・入院措置等、行政の強い関与 ・限られた医療機関による特別な対応
患者対応	・法律に基づく行政による患者の入院措置・勧告や外出自粛（自宅待機）要請 ・入院・外来医療費の自己負担分を公費支援
感染対策	・法律に基づき行政が様々な 要請・関与をしていく仕組み ・基本的対処方針や業種別ガイドラインによる感染対策
ワクチン	・予防接種法に基づき、特例臨時接種として自己負担なく接種

	5　類　感　染　症
発生動向	・定点医療機関からの報告に基づき、毎週月曜日から日曜日までの患者数を公表 ・様々な手法を組み合わせた重層的なサーベイランス（抗体保有率調査、下水サーベランス研究等）
医療体制	・幅広い医療機関による自律的な通常の対応 ・新たな医療機関に参画を促す
患者対応	・政府として一律に外出自粛要請はせず ・医療費の１割～３割を自己負担 入院医療費や治療薬の費用を期限を区切り軽減
感染対策	・国民の皆様の主体的な選択を尊重し、個人や事業者の判断に委ねる ・基本的対処方針等は廃止。行政は個人や事業者の判断に資する情報提供を実施
ワクチン	・令和５年度においても、引き続き、自己負担なく接種 〇高齢者など重症化リスクが高い方等：年２回（５月～、９月～） 〇５歳以上のすべての方　　：年１回（９月～）

厚労省のホームページから

当院は患者さん本位の医療を提供しようと考えております。
お気づきの点はご相談下さい。

治験のご協力のお願い

現在、当院では「うつ病」「統合失調症」「小児うつ病」に対する薬剤の臨床治験を行っています。創薬（薬を創りだす）は国家戦略の一部です。臨床治験を行わないと、良い薬を世の中に出すことは出来ません。参加される方には負担軽減としての費用を差し上げています。

統合失調症とは

統合失調症は、現実とのつながりの喪失、幻覚（通常は幻聴）、妄想（誤った強い思い込み）、異常な思考や行動、感情表現の減少、意欲の低下、精神機能（認知機能）の低下、日常生活（仕事、対人関係、身の回りの管理など）の問題を特徴とする精神障害です。

IRB（治験審査委員会）

治験を実施する際に、倫理性に問題がないか、治験参加者の「人権」と「安全性」に問題がないかなど、治験の倫理性、安全性、科学的妥当性を審査する組織です。五稜会病院では、月に1回開催しています。

五稜会病院　概要

標榜科名：精神科・心療内科・内科・消化器科
病床数　193床
- 急性期病棟　48床
- ｽﾄﾚｽｹｱ・思春期病棟　48床
- 療養病棟A　49床
- 療養病棟B　48床

従業員数　約230名

医師数　常勤	11名	非常勤	6名
看護師	83名	准看護師	9名
薬剤師	3名		
臨床検査技師	1名	非常勤	4名
臨床心理士	11名	（公認心理師	9名）
作業療法士	10名	ｽﾎﾟｰﾂｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ	5名
精神保健福祉士	9名	管理栄養士	2名

五稜会病院沿革
- 開　設　昭和47年（1972年）
- 医療法人開設　平成２年（1990年）

編集後記

北海道の春は短く、連休が過ぎれば桜も散って、急に暑い日がきたと思えば、肌寒い1日だったり、朝は霜が降りるくらいに冷え込んだりと、気温の変化が激しいです。コロナ含めて体調管理に注意したいものです（K.N）

発行：令和５年５月25日
〒002-8029
札幌市北区篠路9条6丁目2－3

こころと身体のクリニック
医療法人社団
五稜会病院
GMC Goryokai Medical Corporation

発行責任者：広報委員　松田雄介・中島公博
電話：011-771-5660
https://www.goryokai.com
mail：GMC@goryokai.com